

# 受講生募集

# みんなのための 4日間の 芸術学校

この芸術学校は  
創造性あふれる鳥取をめざして  
鳥取県が文化庁の助成を得て  
ひろく鳥取で暮らすみなさんのために  
開講するものです。  
美術、音楽、舞台美術の3分野から  
10の多彩な講座を用意しました。  
年配の方も若い方も鳥取の人なら  
どなたでも無料でご参加いただけます。  
どうぞふるってご利用ください。

会期 2010  
**2.11⇒14** 日

会場  
**鳥取市鹿野町内**  
10カ所の特設会場

## 申込方法

講座は完全予約制です。下記をお電話、ファックスまたは電子メールでご連絡ください。受付後、こちらから確認のご連絡を差し上げます。

申込先 | 鳥の劇場 電話・ファックス (0857) 84-3268

電子メール gakko@birdtheatre.org

\* 電子メールによる申込の場合、件名は「みんなのための4日間の芸術学校」としてください。

①お名前(ふりがな)

②確認のための連絡先(電子メールアドレスまたは電話番号)

③希望講座名 ④希望日 ⑤送迎・託児希望の有無

⑥交流会(2月13日(土) 18:00~ 会費2,000円)参加の有無

## 受付期間

2010年1月18日(月)~2月5日(金) 〈定員に達した場合は締め切ります〉

## 問合せ

鳥の劇場 鳥取市鹿野町鹿野1812-1

電話・ファックス (0857) 84-3268 電子メール gakko@birdtheatre.org

| スケジュール  |
|---|
| ●2月11日(木・祝)<br>13:00~開校式<br>オリエンテーション<br>会場:鳥の劇場<br>14:00~18:00 1時限                     |
| ●2月12日(金)<br>19:00~21:00 2時限  |
| ●2月13日(土)<br>13:00~オリエンテーション<br>会場:鳥の劇場<br>14:00~17:00 1時限<br>(2月11日と同じ内容)<br>18:00 交流会 |
| ●2月14日(日)<br>13:00~16:00 2時限<br>(2月12日と同じ内容)<br>16:30~終了式                               |

## 鳥の劇場へのアクセス

最寄りのJR浜村駅から劇場まで車で約15分かかります。

浜村駅と劇場の間を、車で送迎いたします。(無料、要予約)

□JR 浜村駅を目指してください。

□自動車 会場近くの△の場所に案内看板を設置します。

・鳥取市中心部から約30分

・倉吉市中心部から約45分

・米子市中心部から約1時間30分



芸術学校は鹿野のまちの10会場で一斉開催します。授業の前後に温泉やお食事も楽しめます。

## 鹿野温泉



## 夢こみち



鹿野温泉は、通称「おんな湯」といい、弱アルカリ性のお肌に優しいお湯。「温泉館ホットピア鹿野」でゆったりしたら、隣の「鹿野おもしろ市場」で地元のとれたて野菜をお買物。おそばやさんもあります。

■ホットピア鹿野 営業時間10:00~22:00 Tel:0857-84-2698 ■鹿野おもしろ市場 営業時間8:30~18:00 Tel:0857-84-3456 劇場より徒歩15分

## ゆめ本陣



おすすめは地元の食材を鹿野特産のすげ笠に盛った「すげ笠弁当」。山から採ってくる山菜の天ぷらや黒豆ハンバーグ、デザートの豆ふ白玉ぜんざいなど、地元のお母さんたちが真心こめてつくっています。

■営業時間10:00~15:00 Tel:0857-38-0001 劇場より徒歩5分

## 浜村ビューホテル

大浴場、露天風呂、貸切など、それぞれ趣きある湯舟を存分に堪能できます。

Tel:0857-82-0531

宿泊しての  
ご参加も  
歓迎です。

## 国民宿舎山紫苑

純和風の庭園と露天風呂が迎えてくれます。鹿野地鶏づくし料理もおすすめです。Tel:0857-84-2211

## お宿 夢彦

全室に天然露天風呂がついています。日本海の海の幸をつかった料理もお試しあれ。Tel:0857-84-2411

主催:文化庁 鳥取県地域文化芸術振興プラン実行委員会 協力:鳥取県 鳥取市 企画・制作:特定非営利活動法人鳥の劇場

後援:NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 株式会社ふるさと鹿野 鹿野まち普請の会 株式会社サラベル鹿野

【関連企画】 岩国際現代美術展—鳥取の人と自然

■会期:2010年3月6日(土)~14日(日) 11:00~18:00

■会場:鳥取県岩美町

主催:文化庁 鳥取県地域文化芸術振興プラン実行委員会 問合せ:鳥取県地域文化芸術振興プラン実行委員会(鳥取県文化観光局文化政策課内)電話:0857-26-7134

「さくら工芸品工房」工芸展示会(仮称)

■会期:2010年3月上旬

■会場:湯梨浜町さくら工芸品工房(旧桜小学校)

文化庁地域文化芸術振興プラン推進事業



この芸術学校は4日間です。10個の講座があります。

1つの講座は2日で修了します。4日で2つの講座を受けられます。1つだけの受講でももちろんOKです。



## 美術 箱の中の私の劇場

1日目は、箱を使って自分だけの劇場を作ります。2日目は、出来上がった劇場に登場する出演者たちを、様々な形のビンを組み合わせて作ります。工作を通じて、物創りの面白さを体感して頂きます。

- 対象年齢 小学生以上(絵具で絵を描ける子から。大人もぜひ参加してください)



講師 tupera tupera 亀山達矢  
(ツペラ ツペラ かめやま・たつや)  
絵本やイラストレーションをはじめ、アニメーション、ワークショップ、NHK「おかあさんといっしょ」の工作指導など様々な分野で活動している。著書に絵本「木がずらり」「かおノート」など多数。  
<http://www.tupera-tupera.com/>

## 美術 みる・撮る・ませる

個人表現のメディアとしてYouTubeやニコニコ動画ではやりのビデオです。でもビデオは車座になってひとつのものを作る共同制作に適したメディアもあるんです。講座では感覚的思考ドリルで眼をほぐしてから、グループごとにビデオカメラひとつで作品をつくります。



- 対象年齢 小学生以上

- 定員 20名

- 材料費 2,000円(箱、絵具、ボンド、ガムテープなど)

- ご参加にあたって エプロンあるいは汚れてもいい服をご着用ください。次のものをお持ちください。劇場作りの飾りに使えそうな素材(色紙、布、レース、でぐす、ヒモ、リボン、ビーズ、木など、なんでも)、絵具以外の画材(クレヨン、ペン等)、ハサミ、カッター、お手持ちの水彩画用の筆、筆洗い用の牛乳パック(半分くらいに切ったもの)、パレット用の開いた牛乳パック4~5枚。

講師 服部かつゆき(はっとり・かつゆき)  
越境を志す映像作家。近年は、中東から来日した学生との共同制作、長野県高等学校視聴覚研究会、マレーシア人作家とのワークショップなどでファシリテータ兼通訳として活躍。見る・作ることで生じる越境を楽しみながら世界に散らばるビデオの類型を収集している。

## 舞台美術 コミュニケーション?なダンス

コミュニケーションが取れるということは良い事だとされていますが、本当にそのなのでしょうか? そして、人と通じ合うということはどういうことなのでしょうか? 今回はあえて対話する事が困難な状態に身を置き、そこで生まれてくるダンスから人の関係について考えてみたいと思います。



- 対象年齢 10歳以上

- 定員 15名

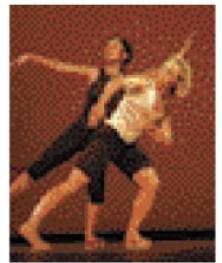
- 材料費 なし

- ご参加にあたって 動きやすい服装でお越しください。裸足で行います。全身を使いますので、体調を整えてご参加ください。講座の途中に休憩を用意しています。水やタオル等をご準備ください。

講師 砂連尾理(じゅれお・おさむ)  
1965年大阪生まれ。1991年、寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を展開し、障がいを持つ人や高齢者等とのパフォーマンスやワークショップを手がけ、ダンスと社会の関わり、その可能性を模索している。2008年10月から1年間、ドイツ・ベルリンで暮らす。

## 舞台美術 「まわり」と関わるための演技術

「観るポイント」という演劇のテクニックを通じて、身体と心のつながりを学びます。演劇では「時間」と「空間」が2つの大きな要素です。「観るポイント(視点・見方)」は私たちの身の周りにあるモノ全て、そしてそれをとりまく時間と空間にあらためて気づかせてくれるテクニックです。新しい世界の見方がみつかります。ご年輩の方もご参加ください。

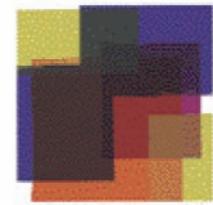


講師 バーニー・オハンロン

ニューヨークに拠点をもつ演劇集団「SITI Company」のメンバー。アメリカ国内のみならずアイルランド、フランス、イギリス、チェコ、デンマークなど世界各国で公演。「観るポイント・テクニック」の講座を多数開催し、創始者のアン・ボガートと一緒に著作も執筆中。

## 美術 自由に描こう抽象画

アクリル絵具による抽象絵画の制作。日々の風景や静物、人物など実際に目の前に存在する物を描いた作品を目指します。しかし、単純な色や形だけでも実は私たちの気持ちに刺激や落ちつきを与えてくれます。自由な発想でそれぞれの抽象画に挑戦していただきます。



- 対象年齢 小学5年生以上

- 定員 15名

- 材料費 4,000円(絵具、用紙、額、マット等)

- ご参加にあたって 次のものをお持ちください。お手持ちの水彩画用の筆、筆洗器または代用の空き瓶、パレットにするための開いた牛乳パック2枚、新聞紙2~3枚。筆は学校でもいくつか用意しております。

講師 藤原晴彦(ふじわら・はるひこ)

1954年八頭郡若桜町生まれ。愛知県立芸術大学(油画専攻)を卒業。現代日本絵画展(宇都市)、第20回現代日本美術展(東京、京都)に入選。第2回TAMON賞全国公募展大賞、川上獎助賞など受賞。1992年にはニューヨーク「キャスト・アイアンギャラリー」にて個展を開催。

## 鳥取県をアーティストのリゾートに

鳥取県知事 平井伸治

鳥取県には、豊かな自然・歴史・文化があります。私は、鳥取県の誇るそれらの様々な資源を活かして、鳥取県をアーティストのリゾートにしたいと思っています。アーティストリゾートの推進は、IJUターンされたアーティストや地域で活動されているアーティストとの協働によって、地域の新たな魅力を創出する取組でもあります。

この度の文化庁地域文化振興プラン推進事業を活用した「みんなのための4日間の芸術学校」には、アーティストリゾートの実現に向けた内容がたくさん盛り込まれています。それぞれの地域で特色ある魅力が生まれ、県内の他の地域にも広がっていくことを期待しています。

## 創造的な鳥取県をめざして

みんなのための4日間の芸術学校・校長  
鳥取大学副学長 高阪一治

私たちは、この5、60年の間に、長い時間をかけて蓄積されてきた社会や自然の豊かさをものすごい勢いで奪い、それらをほぼ枯渇させてしまいました。疲弊した社会にもう一度活力を与えるためには、人間の生を支える新たな価値観を見つけなければなりません。芸術がもたらす創造性や精神的な豊かさが、その中の必須なものであることは間違いありません。

「みんなのための4日間の芸術学校」が、日常の受け身的な娯楽にはない楽しさや感動を一般のみなさんに提供し、新しい社会のために必要な創造性を広く普及させるきっかけとなることを願っています。

## 美術 粘土で作る「いのちのかたち」



粘土はのばしたり、くっつけたり、丸めたりすることができます。この可塑性に富んだ自由な素材を使って、あなた自身から生まれる形の想像と創造を楽しんでみましょう。いのちのかたちは百人百様。一人約3キロの粘土を用意しています。

講師 石谷孝二(いいたに・こうじ)

1952年北海道生まれ。愛知県立芸術大学大学院を終了。国展「国画賞」、「会友優作賞」、第1回桜の森彫刻コンクール優秀賞、鳥取県教育表彰、鳥取市文化賞などを受賞。1986年より鳥取大学教授。近年では、中国・北京林業大学で講演する他、県内外の展覧会への出展も多い。

## 音楽 こどもとおとのための西洋芸術入門

日本に豊潤な文化があるように、ヨーロッパにも地域・時代ごとに様々な文化があります。そういう文化の大変な要素としての芸術や音楽の話を資料やエピソードを交えてお話しします。音楽を通してヨーロッパの文化史を探索してみませんか。

講師 マルグリット・フランス

パリ生まれ。3歳より音楽を始める。パリ国立音楽院卒業(ソルフェージュ、和声学、対位法、指揮法、ヴィオラ、室内楽)。ジュネーブ国際音楽コンクールで1位なしの2位入賞。パリ大学楽理専攻課程修了。スイス・ロマンダ管弦楽団の正団員としてアンセル美及びシュタイン、サヴァリッシュのもとで活動。1975年來日。東京都交響楽団にヴィオラ奏者として入団。東京芸術大学、武蔵野音楽大学、玉川大学で音楽教育に従事。現在、シャントクレール・エディション(フランス音楽センター)所長。

## 音楽 鷺峰山を仰ぎながら「鷺峰讃歌」を作曲しよう

大正、昭和初期にかけての鳥取の子供たちの「山を謳った詩」にメロディーをつけて歌を作曲します。楽譜が読めない方でも歌が好きな方ならどなたでもOKです。出来上がったメロディーは2010年度に鳥の劇場で初演するオーケストラと合唱のためのカタタ「鷺峰讃歌」で歌われる予定です。

- 対象年齢 小学生以上

- 定員 5名

- 材料費 なし

- ご参加にあたって ふだん演奏している楽器(リコーダー、ハーモニカ、ギター、その他)があれば持参してください。ギーポードは講師が用意します。また、曲を書き留めるための筆記用具(鉛筆と消しゴム)をお持ちください。

講師 新倉健(にいくら・けん)

1951年生まれ。武蔵野音楽大学及び大学院にて作曲を福島雄次郎、金光威和雄氏に師事。1981年より鳥取大学に勤務。作曲家・指揮者として鳥取県内外で活躍。主な作品に、「広島が言わせる言葉」、「マドリガル」、オペラ「ボラーノの広場」などがある。

## 音楽 はじめてのヴァイオリン



ヴァイオリンは小さなボディに4本の弦を張って弓で弾くだけのいたってシンプルな楽器。ただその演奏は、例えばピアノのようにこのキーを押したら○の音!ってな訳にはいかないのですが、それはこの楽器では「音」そのものを創造するプロセスが必要だから。

2日間、僅か数時間でのトライは些か無茶な冒険!? かもしれません、工夫を凝らしてさあやってみましょう! あなたご自身の「音」とめぐり合いに夢を馳せ。。

講師 武中淳彦(たけなか・あつひこ)

国立音楽大学、ヴァイオリン科に学ぶ。その後ブラハに赴き、B・ノヴォトニーの内弟子となり、ヴァイオリン、室内楽、指揮法を修める。ソロ、室内楽や指揮など、内外多くの演奏会、音楽祭に出演。録音も多数。鳥の劇場専属音楽家。